

事務事業No.	17-	9
事業名	文化財保護経費	
会計	款	項
一般	10	5
目	5	
施策	3 心豊かなまち	課名 社会教育課
	3-2 文化のかおるまちをつくる	係名 生涯学習係
	3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援	
主要施策	③文化財の保存・活用	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	重要な文化財の保存と活用を図り、今後の世代へ継承する。
事業内容	町内の文化財の調査・指定及び保護を行うとともに、町内の文化財保護団体に対して補助金の交付を行うことによって存続と継承を支援する。郷土資料館において町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)		
1	指定文化財の点数	8	8	8	点	↑	9		
2	郷土資料館への入館者数	13	89	142	人	↑	100		
3									
4									
5									
			令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)			令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				3,004		2,566	3,870		
財源内訳	直接事業費 A			1,684		1,246	2,352		
	うち一般財源			1,684		1,246	2,352		
人件費 (千円) B				1,320		1,320	1,518		
内訳	一般職員 (人・千円)			0.20	1320	0.20	1320	0.23	1,518
	臨時職員 (人・千円)			0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> トウインヤエヤマザクラや観音もみじなど、町の貴重な財産を後世に残すため、適正な生育管理に取り組む。 郷土資料館の展示方法等を工夫し、一層魅力ある資料館に取り組む。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 近年の気象状況を鑑み、トウインヤエヤマザクラや観音もみじなどの後継木の育成を図る必要がある。(苗木の植え付け) 郷土資料館の認知度を高めるため、幅広く情報発信し、入場者数の増加を図る必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 樹木医に保護作業を委託し、取り木、挿し木や種子の採取・種まきによる後継木育成の試みに取り組んだ。 郷土資料館では、展示物について説明する案内人ボランティアを組織した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 町天然記念物を後世に伝え、残すため、後継木の適正な生育管理に取り組む。 郷土資料館は、展示品の使い方を体験できる方法を研究し、魅力ある資料館を目指す。